

作成日: 2012年11月6日

改訂日(V.2): 2013年2月4日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: 日農トリメックF液剤

会社名: 日本農薬株式会社
 住所: 〒104-8386 東京都中央区京橋 1丁目 19番 8号 京橋OMビル
 担当部門: 環境安全部
 TEL. 03-6361-1426, FAX. 03-6361-1451
 e-mail: kankyuanzen@nichino.co.jp

緊急連絡電話番号: (平日) 03-6361-1426 (環境安全部)
 (休日、夜間) 04-2929-8961 (A L S O K)

推奨用途及び使用上の制限: 農薬(芝用除草剤)、農薬登録の範囲外の使用は不可
 SDS番号: 520-18(M12-24)

2. 危険有害性の要約

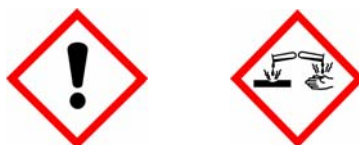
GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分外
	自然発火性液体	区分外
	水反応可燃性化学品	区分外
健康有害性	急性毒性(経口)	区分4
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分1
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
環境有害性	皮膚感作性	区分外
	水生環境有害性(急性)	区分外

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語: 危険
 危険有害性情報: 飲み込むと有害
 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
 重篤な眼の損傷

注意書き

【安全対策】

- 煙/ガス/ミストを吸入しないこと。
- 取扱い後は手をよく洗うこと。
- この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- 直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

- 施錠して保管すること。

【廃棄】

- 内容物、容器を法、条例等に従って安全に処理する。または都道府県知事等の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

他の危険有害性：

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保護措置」も参照。

応急措置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」も参照。

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」も参照。

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」も参照。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分：混合物

有効成分化学名：

- 1) α - (2-メチル-4-クロロフェノキシ) プロピオン酸ジメチルアミン
別名 MCPP-ジメチルアミン
- 2) 2 - メトキシ-3, 6-ジクロロ安息香酸ジメチルアミン
別名 MDBA-ジメチルアミン
- 3) 2, 4-ジクロロフェノキシ酢酸ジメチルアミン
別名 2, 4PA-ジメチルアミン

成分及び含有量：

成分化合物	含有量	化学式	CAS No.
MCPP-ジメチルアミン	12.0%	$C_{10}H_{11}ClO_3 \cdot C_2H_7N$	32351-70-5
MDBA-ジメチルアミン	2.5%	$C_8H_6Cl_2O_3 \cdot C_2H_7N$	2300-66-5
2, 4PA-ジメチルアミン	26.0%	$C_8H_6Cl_2O_3 \cdot C_2H_7N$	2008-39-1
水、界面活性剤等	59.5%		

4. 応急措置

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移し、安静・保温に努める。直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合：汚染された衣類を脱ぎ、付着した部分を石鹼を使ってよく洗う。皮膚の変色、痛み等がある場合には、直ちに医師の手当を受ける。

眼に入った場合：直ちにまぶたを開いて、流水で15分以上洗眼し、直ちに眼科医の治療を受ける。

飲み込んだ場合：被災者に意識がある場合は、繰返し大量の水(医療用活性炭を混合したほうが良い)を飲ませて吐かせ、直ちに医師の手当てを受ける。意識がない場合は、口から何も与えてはならない。咽頭などを刺激して嘔吐させてはならない。直ちに医師の手当てを受ける。

応急措置をする者の保護：救済者は保護手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

消火剤： 粉末、泡、二酸化炭素、霧状水

使ってはならない消火剤：棒状水を用いてはならない。

火災時の特定危険有害性：該当なし

特定の消火方法：火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護：消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：風下の人を退避させる。漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしない。必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項：汚染された洗浄水が河川、湖沼、地下水等に流入しないようにする。できるかぎり汚染洗浄水を密閉できる容器に回収する。

除去方法：少量の場合は、密閉できる容器に回収する。

大量の場合は、その周囲を土砂等によって囲み、プラスチックシート等の上を覆い、密閉できる容器に回収する。

二次災害の防止策：付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

注意事項：吸い込んだり、眼や皮膚に触れないよう十分注意する。

安全取扱い注意事項：作業中に接触する可能性がある場合には、綿または合成繊維製の作業衣ゴム製前掛け、保護靴または保護長靴、保護手袋、ゴーグル型保護眼鏡または保護面を着用する。多量に暴露されるような場合は、保護マスクを着用する。作業後は体を十分洗浄(シャワー、入浴、洗髪)し、着衣を着替える。

適切な保管条件：換気の良い冷暗所で、密閉できる容器に入れて可燃物と分けて保管する。関係者以外の人や動物を近づけない。直射日光や湿気を避け、食品や飼料と一緒に保管しない。

安全な容器包装材料：データなし

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置する。適切な排気換気装置を使用する。

管理濃度：設定されていない

許容濃度：

日本産業衛生学会：設定されていない

ACGIH：設定されていない

保護具：

呼吸器の保護具：保護マスク

手の保護具：ゴム製保護手袋

眼の保護具：保護眼鏡(ゴーグル型)

皮膚及び身体の保護具：保護衣、ゴム製前掛け、保護靴または保護長靴、保護面

適切な衛生対策：取り扱い後は手を良く洗う。汚染衣服は他のものと別に洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状：液体(水溶性)

色：褐色澄明

臭い：アミン臭

pH：データなし

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点:	データなし
融点:	データなし
分解温度:	データなし
引火点:	データなし
発火点:	データなし
爆発特性:	データなし
爆発限界:上限:	なし、下限:なし
密度:	1.12 g/cm ³ (20°C)
溶解性:	
水に対する溶解性:	極めて易溶
溶媒に対する溶解性:	エタノール、アセトン、酢酸エチルに対して極めて易溶 シクロヘキサン、ベンゼンに対して難溶
オクタノール/水分配係数(log Pow):	データなし
蒸気圧:	データなし
解離定数:	データなし

10. 安定性及び反応性

化学的安定性:	安定
危険な反応性:	データなし
避けるべき条件:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性経口毒性:	ラット LD ₅₀ 値 (mg/kg)	♂ 1744	♀ 2605
急性経皮毒性:	ウサギ LD ₅₀ 値 (mg/kg)	♂, ♀ > 2000	
急性吸入毒性:	ラット LC ₅₀ 値 (mg/L/4h)	データなし	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:	ウサギ	刺激性あり	
皮膚腐食性及び皮膚刺激性:	ウサギ	刺激性あり	
呼吸器感作性:		データなし	
皮膚感作性:	モルモット	陰性	
特定標的臓器毒性(反復ばく露):			
慢性毒性:	(ラット混餌、24ヶ月)	データなし	
	(マウス混餌、18ヶ月)	データなし	
	(イヌ経口、12ヶ月)	データなし	
発がん性:		データなし	
生殖細胞変異原性:		データなし	
生殖毒性:	催奇形性および繁殖毒性試験のデータなし		

12. 環境影響情報

移動性:		データなし
残留性/分解性:	土壌残留性(容器内、圃場)	データなし
	水中残留性	データなし
生態蓄積性:	n-オクタノール/水分配係数(logPow)	データなし
生態毒性:		
魚毒性:	コイ(96時間)	TLm 328 ppm
	ミジンコ(24時間)	LC ₅₀ 334 ppm
	ミジンコ(遊泳阻害)	データなし
その他:	水草(14日間)	データなし
	ウズラ(5日間)	データなし

アヒル(5日間)

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄の方法： 「7. 取扱い及び保管上の注意」の項を参照

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

空容器： 内容物を使いきった後適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類： 該当なし

国連番号： 該当なし

国内規制 該当なし

輸送の特定の安全対策及び条件：「漏出時の措置」の項を参照。

「取扱いおよび保管上の注意」の項を参照。

容器の破損、漏れがないことを確かめる。荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

農薬取締法： 適用される

労働安全衛生法： 通知対象物に該当しない

毒物劇物取締法： 該当しない

化学物質排出把握管理促進法： 指定化学物質に該当しない

16. その他の情報

参考文献：安全データシート「トリメックF液剤」(東洋グリーン㈱) 2012年7月1日改訂)

本データシートの記載内容は、この製品の取扱い時の安全性に関する参考情報であり、安全性や品質の保証をなすものではありません。また危険性、有害性の評価は、必ずしも充分ではありませんので、取扱いには充分注意を払って下さい。